



【発信日】令和3年7月12日

【問い合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5520

大野市の地層からアンモナイトがいた恐竜時代の海を知る

～企画展「九頭竜層群—ジュラ紀の海を知る—」開催～

和泉郷土資料館では、企画展「九頭竜層群—ジュラ紀の海を知る—」を下記のとおり開催します。市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただきたく、事前周知と開催期間中の取材をお願いいたします。

記

- 1 タイトル 企画展「九頭竜層群—ジュラ紀の海を知る—」
- 2 内 容 大野市は、明治時代に日本で初めてジュラ紀のアンモナイトが発見された場所として知られています。このジュラ紀のアンモナイトが多く発掘されている地層は「九頭竜層群」と呼ばれています。本企画展では、九頭竜層群の最新調査報告について新発見の化石をもとに紹介します。
- 3 展示資料 和泉郷土資料館、福井市自然史博物館 所蔵標本 約30点
九頭竜層群を構成する岩石、同層群から発見されているアンモナイト、オウムガイ、トリゴニア類（二枚貝）、イノセラムス類（二枚貝）などの化石
- 4 開催場所 和泉郷土資料館（大野市朝日25-7、電話 0779-78-2845）
- 5 開催期間 7月21日（水）～11月7日（日）
休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日
- 6 開館時間 平日（土曜日含む） 午前9時～午後4時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- 7 入館料 300円（団体30名以上 150円）、中学生以下は無料
- 8 協 力 福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館

9 関連イベント

(1) 学芸員によるギャラリートーク

日時：7月22日（木・祝）、7月31日（土）、8月7日（土）、8月13日（金） 午前11時～正午

内容：学芸員が展示内容の見どころ、化石の最新情報について解説。

会場：和泉郷土資料館

講師：酒井佑輔（大野市教育委員会 主任学芸員）

対象：小学生以上

参加料：300円（入館料として）、中学生以下は無料

申込方法：申込不要。当日、会場へ直接お越しください。

(2) 化石そっくりな消しゴム作り体験

日時：8月1日～29日の土・日曜日、祝日

消しゴム作り受付時間 午前10時～午後3時

内容：特殊な粘土をアンモナイトや三葉虫、恐竜の歯などの型にはめて、化石そっくりな消しゴム作り体験を行います（約15分）

会場：和泉郷土資料館

対象：小学生以下（保護者同伴可）

参加料：300円（入館料として）、中学生以下は無料

申込方法：申込不要。当日、会場へ直接お越しください。

10 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ・和泉郷土資料館では入館制限を設けています。
- ・手指の消毒液を入口に設置しています。
- ・『学芸員によるギャラリートーク』と『化石そっくりな消しゴム作り体験』は、人数制限を設ける場合があります。

11 取材について

担当学芸員が対応しますので、事前に連絡を下さいますようお願いいたします。

主な展示資料

(1) オウムガイ「シュードアガニデス」

オウムガイ類は、イカ・タコと同じ頭足類の仲間で、古生代の海に栄え、中生代以降は次第に衰退し、現在では数種が南太平洋などに生息しています。日本においては、中生代のオウムガイ化石は極めて珍しく数点の報告例（北海道など）に限定されています。和泉郷土資料館には、1974（昭和49）年に大野市貝皿の九頭竜層群から産出したとされるオウムガイ「シュードアガニデス」の化石が所蔵されています。本種は、古くからヨーロッパ各地及びインドのジュラ紀の地層から報告されていますが、日本を含む東アジアからの発見はこれまで知られていませんでした。大野市は、おそらく東アジアで唯一のシュードアガニデスの産出地であり、ジュラ紀の東アジアに広がっていた海にどのようなオウムガイが生息していたのかを解明する上で国際的に重要な地域であると言えます。



シュードアガニデス

(2) 二枚貝「ミオフォレラ・スガエンシス」

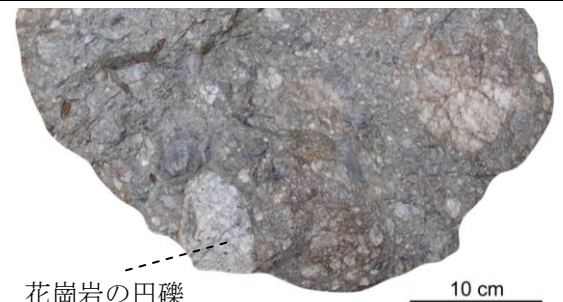
トリゴニア類は、ジュラ紀から白亜紀の海で繁栄した二枚貝の仲間で、殻の外形が三角形であることから三角貝とも呼ばれています。「ミオフォレラ・スガエンシス」は、福島県南相馬市の相馬中村層群山上層（中期ジュラ紀）より新種として1955（昭和30）年に報告されたトリゴニア類です。大野市下山の九頭竜層群からも本種と非常によく似た化石が近年発見されました（世界で2ヶ所目）。この発見は、約1億6600万年前（中期ジュラ紀）の福井県と福島県に広がっていた海に共通する種類の二枚貝が生息していたことを初めて明らかにしました。



ミオフォレラ・スガエンシス

(3) 中部縦貫自動車道整備工事により産出した九頭竜層群を構成する岩石

中部縦貫自動車道大野油坂道路の下山トンネル工事（令和元年10月24日貫通）では、九頭竜層群下山層が掘削され、多くの礫岩が産出しました。この礫岩は、比較的大きな白い花崗岩の円礫を含むのが特徴です。下山層は、九頭竜層群の中で最も古い地層であり、同層群がいつから、どこで、どのように形成されたのかを考える上で重要な地層であると言えます。



花崗岩の円礫

九頭竜層群下山層の礫岩